



SSH先端研究機関研修(1年)

12月9日～10日に、探究I「学問探究」発表会で優秀な発表を行った1年生10名が「SSH先端研究機関研修」に参加しました。

1日目は鹿児島大学に集合し、研究室を訪問しました。大学では3班に分かれ、希望した学部を少人数で回ることができました。担当していただいた大学の先生方には懇切丁寧に説明をしていただきました。今まで生徒にとって大学は遠い存在だったようですが、今回を機に、大学と連携しながら探究活動を進めたいと意気込んでいました。

その後、霧島市にある藤田ワークスを訪問しました。高度なテクノロジーを駆使し精密板金加工を行う会社です。製造業の概念を覆したいという会社の思いがよく表れた労働環境で、生徒は口を揃えて「工場が明るい」「働きやすそう」と感想を述べていました。工場内では、全員にレーザーが貸し出され説明を受けました。生徒の中には文系に進む予定の者もいましたが、未知の分野を知ることが、大変楽しかったようです。



2日目は種子島宇宙センターへ行きました。ロケット発射台が目の前に現れたときは歓声が上がりました。宇宙科学技術館ではタッチパネルを使い機械を組み立てるシミュレーションや宇宙飛行士のパネルなどを観覧し、それぞれが有意義な時間を過ごすことができました。

鉄砲館を訪問後、種子島高校電気科の3年生との交流会を行いました。普段目にする事のない

電気科の実習室に生徒は驚いてばかりでした。本校から電気科の生徒さんへ質問する場もあり、これから本格的に研究活動始める1年生に大きな指標を示してもらいました。



盛りだくさんの内容で大変有意義な2日間の研修になりました。各方面の方々に多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

【生徒の感想】

研修旅行後、自己にどのような変化がありましたか。

- ・改めて探究活動は面白いと思った。
- ・視野を広げて物事を思考できるようになり、今までは思いつかないようなことを考えられるようになりました。
- ・理系の仕事や研究に興味を持った。

研修旅行を今後の探究活動にどう生かしていきたいですか？

- ・自分の本当にやりたいことを大切にしている姿を見て、私もその気持ちを大切にしたいと思いました。宇宙や鉄砲など、様々な科学に触れたことで、今後一つの学問をする際にも、違う視点を取り入れるようになれると思います。

